

トップアスリート系列 2021



福島県立

ふたば未来学園中学校・高等学校

トップアスリート系列

優れた競技力とリーダーシップを 兼ね備えた変革者

本校トップアスリート系列では『双葉地区未来創造型リーダー育成構想』が掲げる「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を目指し、県の全面的なバックアップの元、競技力に加えて、リーダーシップ（タフ&レジリエンス）を兼ね備えた変革者（未来創造型リーダー）を育成する。

バドミントン、レスリング、男女サッカー、野球の各競技で、部活動と連携しつつ高度な技術・理論を習得することを目的とした授業トレーニングを導入するとともに、育成環境を整備し、競技種目を横断した組織的な強化によって、優れた競技力を育成する。本校が育成する競技力とは、優れた人間性を基盤とした「技術（専門的な技能）・体力・精神力」に加え、自身で考え、実践の中で成長しようとする資質・インテリジェンスに立脚するものである。

また、競技力のみならず、スポーツを通して地域の復興や活性化に貢献していく資質・能力の育成を目指し、未来創造学（中学）、未来創造探究（高校）等で、スポーツを通じた地域の復興・創造を目指す探究的な学習に取り組んでいく。自ら地域課題を解決するスポーツ・ビジネスのプラン等を立案・実践できる能力を養成し、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。

そして、トレーニングと探究学習の相乗効果によって、スポーツを通じて社会に貢献する生き方を見出し、卒業後も競技を継続することを前提として、競技力を生かして自らの進路（プロ・実業団・大学）を切り拓いていく。

双葉地区 未来創造型リーダー育成構想について
平成18年度に、「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を基本目標として、県、双葉郡3町（富岡町、檜葉町、広野町）、JFA等の連携による人材育成プログラム『双葉地区教育構想』として開始。構想の中核を担ってきた富岡高等学校と連携4中学校において、構想に基づく取組を推進し、現在バドミントンの桃田賢斗選手が世界ランキング1位に君臨、東京オリンピック代表に7名の出場がほぼ確定するなど、着実に成果を収めてきた。平成29年3月に新構想『双葉地区 未来創造型リーダー育成構想』に改訂され、「震災後の課題先進地域だからこそ、未来創造型の人材を育成する」「競技力だけではなく、タフでしなやかな、新時代のリーダーを養成する」「ふたば未来学園を新たな核としながら、多様な主体の協働を推進する」ことが柱とされている。



バドミントン

中学

高校

専用アリーナに加え中高7名の専任指導者による指導や、世界で活躍するOBOGとのトレーニング等、充実した環境のもと、中高一貫6年間で、一人ひとりの個性を尊重し、自由な発想のもと自主・自律の精神を培い「スポーツを通して世界に羽ばたける人材」を育成します。また、「WORLD STANDARD（世界基準）」での取り組みができるよう、世界に目を向けた活動と意識の定着を図ります。

主な実績

(中学)

全国中学校バドミントン大会

男子団体 優勝 7回 (H22~25 H29~R元)

女子団体 優勝 9回 (H21 H23~26 H28~R元)

男子シングルス 優勝 7回、ダブルス 優勝 4回

女子シングルス 優勝 6回、ダブルス 優勝 6回

全日本中学生バドミントン選手権大会

優勝 8回

全日本ジュニアバドミントン選手権大会

男子シングルスジュニア新人の部 優勝 7回

女子シングルスジュニア新人の部 優勝 3回

(高校)

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 (インターハイ)

男子団体 優勝 3回 (H25 H26 H29)

女子団体 優勝 6回 (H24 H26 H28~R1)

全国高等学校選抜バドミントン大会

男子団体 優勝 1回 (H28)

女子団体 優勝 3回 (H24 H25 H28)

部員数

53名

中学 1年男子5名女子4名 2年男子6名女子4名
3年男子5名女子5名

高校 1年男子4名女子3名 2年男子6名女子3名
3年男子5名女子3名



活動場所 アリーナ2 (バドミントン専用アリーナ)
活動時間 週25時間程度

年間活動計画

(中学)

- 5月 東北選抜バドミントン大会
全国大会プレ大会
 - 7月 福島県総合体育大会
福島県中体連バドミントン大会
 - 8月 東北中学生バドミントン大会
全国中学生バドミントン大会
 - 9月 全日本ジュニア選手権
 - 11月 全日本総合選手権大会
福島県新人バドミントン大会
 - 12月 ジュニアグランプリ
東北中学生新人バドミントン大会
 - 3月 全日本中学生バドミントン選手権大会
- *その他、国内遠征、海外遠征

(高校)

- 5月 福島県高校体育大会、日本ランキングサーキット
 - 6月 東北高等学校選手権大会
 - 7月 福島県総合体育大会
 - 8月 全国高校総合体育大会
 - 9月 全日本ジュニア選手権
 - 11月 全日本総合選手権大会
 - 12月 福島県高校新人体育大会
 - 1月 東北選抜大会
 - 3月 全国高校選抜バドミントン大会
- *その他、海外遠征、海外大会への参加

主な指導スタッフ



高校監督
本多 裕樹
ジュニアナショナルチーム
(U19) コーチ



高校顧問
星 大智



中高顧問
大久保 菜摘



中学監督
齋藤 亘
ジュニアナショナルチーム
(U16) コーチ



中学顧問
中村 善之



スペシャルコーチ
アンタル・クルニア



スペシャルコーチ
セナトリア・アグス
元インドネシア代表

先輩メッセージ



桃田 賢斗
平成24年度卒

富岡で過ごした6年間は僕の原点です。
毎日バドミントンのことを考えて、いつも強くなりたいという気持ちがあったからこそ、今の僕があります。
皆さんも今こうして過ごしている日々は、将来にとってのかけがえのない糧になります。
スポーツでは結果として勝ち負けがありますが、必死で過ごした日々は人間的にも成長させてくれます。だからこそ、毎日を一つ一つ大切に過ごして頑張ってください。

2020日本代表選手 (ナショナルチーム) 選出OB/OG一覧

A代表

齋藤 太一 H23年度卒
桃田 賢斗 H24年度卒
保木 卓朗 H25年度卒
小林 優吾 H25年度卒
東野 有紗 H26年度卒
大堀 彩 H26年度卒
渡辺 勇大 H27年度卒

B代表

古賀 穂 H26年度卒
仁平 菜月 H28年度卒
金子 真大 H29年度卒
久保田友之祐 H29年度卒
高橋明日香 H29年度卒
水井ひらり H30年度卒





レスリング

中学 高校

日々の活動を通じて与えられた大会に真に向き合い、その活動を通じて将来社会に求められる人材の育成、格闘技の真の目標である「人間形成の実現」を目指します。

主な実績（令和元年度）

（中学）

- 全国中学校レスリング選手権大会 女子個人 第3位
- 北日本少年少女レスリング大会 女子個人優勝
- 福島県総合体育大会 中学生の部優勝

（高校）

- 全国高等学校体育大会 女子個人第3位
- 東北高等学校選手権大会 女子個人第1位
- 男子個人第2位・第3位
- 国民体育大会 出場

年間活動計画

（中学）

- 4月 JOC杯クイーンズカップ
- 7月 全国中学校選手権大会
- 11月 全国中学校選抜大会
- 他 各種大会参加

（高校）

- 6月 福島県高等学校体育大会
- 7月 福島県総合体育大会
- 11月 福島県高等学校新人体育大会
- 12月 JOC杯予選会

部員数

9名

- 中学 3年男子1名 女子2名
- 高校 1年女子1名 2年男子1名
- 3年男子3名 女子1名



先輩メッセージ

トップアスリートの授業では、大切な基礎や技術だけでなく、人として大事なことを学ぶことができました。体育大学に進むことを決めたので、さらに人としての力を磨き、競技力の強化を図っていきたいと思います。

穴戸 拓海
日本体育大学体育学部
平成29年度卒

活動場所 アリーナ I B1 レスリング場
トレーニングルーム
活動時間 平日約2時間 休日約3時間

主な指導スタッフ



顧問
入江 格
1994全日本選手権（男子FS）優勝



スペシャルコーチ
砂川 航祐
2018全国社会人オープン選手権優勝
2014世界大学選手権5位
2012全日本学生選手権優勝





男子サッカー

高校

専用グラウンドに加え各種専門コーチによる指導（スプリント等）など、充実したトレーニング環境が整っています。また、JFAと連携したナショナルトレセンコーチの指導やJFAアカデミー遠征、10日間のドイツ派遣（選抜）なども取り入れ、競技力を磨いていきます。トレーニングにおいては、常に選手自身に「考えること」を求め、素早い「判断・決断・実行」ができる力を育成します。

主な実績（令和元年度）

新人戦：県大会ベスト8
 全国高校サッカー選手権大会福島県大会ベスト8
 インターハイ：県大会出場

年間活動計画（令和2年度）

9月～10月 リーグ戦
 10月 全国高校サッカー選手権大会福島県大会
 11月 新人戦
 その他 各種遠征・練習試合

主な指導スタッフ



監督
 佐原 明良
 JFA公認B級ライセンス
 福島県トレセンU15・U16スタッフ
 福島県国体少年選抜U16監督



コーチ
 田邊 惟
 JFA公認B級ライセンス



コーチ
 今野 蓮
 JFA公認C級ライセンス

活動場所 広野町サッカー場、本校人工芝グラウンド
 活動時間 平日約2時間 休日約3時間



部員数 51名（1年17名 2年17名 3年17名）





女子サッカー

高校

サッカーに集中して取り組める恵まれた環境が整っており、思いっきりプレーすることができます。JFAやJFAアカデミー福島とも連携し、ナショナルトレセンコーチから定期的に高いレベルの指導を受けることができたり、アカデミー福島に遠征し、合同練習などを通して全国レベルのトレーニングやゲーム、オフザピッチの取り組みを肌で感じることができます。

指導方針

- ・基本技術を反復して身に付け、サッカーの楽しさを味わうことができるようにする。
- ・サッカーの戦術の基本的な型を理解し、自分で判断してプレーすることができるようにする。
- ・トップアスリートとしての資質を身に付け、サッカーを通して進路を開拓し、社会生活に生かせるようにする。

活動場所 広野町サッカー場、広野町多目的運動場
活動時間 平日約2時間 休日約3時間

主な実績（令和元年度）

インターハイ県大会1位
全日本高校女子サッカー選手権大会県大会1位
高校新人大会県大会1位
東北新人選手権4位

年間活動計画（令和2年度）

9月～10月 リーグ戦
9月 選手権予選
10月 選手権東北大会
その他 各種遠征・練習試合

主な指導スタッフ



部員数 17名（1年4名 2年4名 3年9名）



監督
安齋 和之
JFA公認GK-A級コーチ
GKレベル3コーチ
ナショナルトレセンコーチ女子GK担当



コーチ兼GKコーチ
目黒 祐太
JFA公認B級ライセンス
GKレベル1コーチ



野球

高校

「個」を生かすことを第一に、自主性・協調性を育て、人間的に強くなることを目指します。

主な実績（令和元年度）

- 第71回春季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト4
- 第101回全国高等学校野球選手権福島県大会ベスト8
- 第71回秋季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト8

主な指導スタッフ



監督
遠藤 太



部長
鈴木 智之

年間活動計画

- 4～6月 春季大会
- 7～8月 選手権福島県大会
- 9～10月 秋季大会
- その他 高野連行事、練習試合(遠征)等

活動場所	本校野球場
活動時間	平日約3時間 休日約4時間



部員数 35名（1年17名 2年3名 3年9名 MG6名）



トップアスリート 育成を支える環境

生涯スポーツ社会のリーダー育成

競技力のみならず、スポーツを通して地域の復興や活性化に貢献していく資質・能力の育成を目指し、中高6か年でスポーツを通じた地域の復興、創造に取り組む探究的な学習を行い、自らの在り方・生き方を見出すとともに、地域課題を解決する能力を身につけます。

中学の『未来創造学』では、双葉郡の地域とスポーツの関わりについて探究した上で、スポーツの力で地域を活性化させる実践「地域スポーツ実践探究」や、競技に繋がる、フィジカル、メンタル、リーダーシップ等を探究する「競技探究」に取り組みます。

高校の『未来創造探究』では、原子力災害によって地域に生じている課題を直視しつつ、スポーツを「する」「見る」「支える」に「知る」の視点を加え、各視点から、スポーツを通じて地域を豊かにすることを目指して探究に取り組みます。

子どもの体力向上につなげるプログラムを構築して地域の小学校で子供たち向けに実施したり、高齢者の健康増進と地域活力創造に繋げることを目指して地域の歴史とウォーキングを掛け合わせたプログラムを考案するなど、生徒達は様々な実践を重ねています。



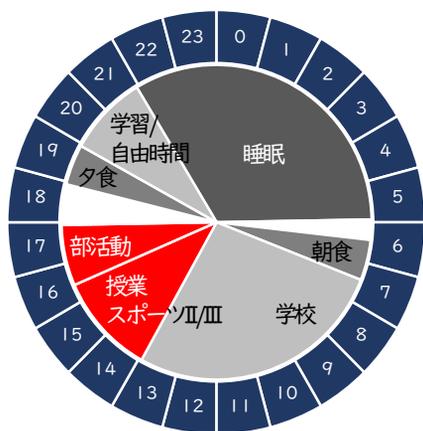
フランスのロクサナ・マラシニアヌ スポーツ大臣（左から2人目）に、バドミントンで高齢者の健康増進をはかるプランについて発表し意見交換する生徒（木村百加・右・現ヨネックス、染谷菜々美・現筑波大）

寮生活

ふたば未来学園高校には立志寮と海風寮の2つの寮があり、遠方から入学した中高生が親元を離れて生活を送っています。生徒主体での歓迎会やクリスマスパーティーなどの行事運営や、寮生活を自分たちで創り上げる自治活動を積極的に行っています。親元を離れて共同生活を送る経験を通して、人間性や協働する力を育みます。

本校寮には教員（寄宿舍指導員）7名と寄宿舍監督者9名の合計16名が24時間体制で勤務しています。常日頃から学級担任や部活動顧問と連携を図り、寮生一人ひとりに寄り添った指導を心がけています。指導員は、寮生だけでは解決できない問題や日々の生活に対して随時指導とアドバイスをし、共によりよい寮を創り上げています。

寮での3食の食事はアスリート食を提供し、競技力の基盤となる身体を創り上げる食育の指導も行います。



寮生の一日の生活（高校生）

Q 寮生活はいかがですか？

A 中学1年生から高校3年生までと一緒に生活をしています。各部屋は異なる学年の組み合わせによる2人部屋で、全員で協力して寮生活を送れています。

Q 寮生活で大変なことはありますか？

A 洗濯や掃除が大変です。寮生活1年目の時は何もかもが初めてで大変でしたが、先輩方が優しく教えてくださり助かりました。

Q 食事は美味しいですか？

A 美味しいです。栄養バランスも整っているのととても健康的に食事を摂ることができます。寮にはアスリートの人も多くいるのですごく助かっています。

Q 寮生活をして良かったことはありますか？

A 様々な地域から来る人と仲良くなれることも楽しいですし、何より親へのありがたみを実感できて感謝の気持ちを今まで以上に持つことができました。人間性の部分で成長できたと感じています。



海風寮 前寮長
山澤世和
(高校3年、サッカー部)